

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・最終仕入原価法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

構築物、車両運搬具、什器備品、ソフトウェア・・・定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前(平成20年3月31日以前)の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後(平成20年4月1日以後)の所有権移転外取引の内リース料総額が少額(3百万円以下)のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、3,975,390円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
構築物	7,647,750	0	583,000	7,064,750
車両運搬具	2	0	0	2
什器備品	339,935	0	183,763	156,172
事業運営積立資産	7,000,000	0	0	7,000,000
合 計	14,987,687	0	766,763	14,220,924

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
構築物	7,064,750	(7,064,750)	(0)	—
車両運搬具	2	(2)	(0)	—
什器備品	156,172	(156,172)	(0)	—
事業運営積立資産	7,000,000	(0)	(7,000,000)	—
合 計	14,220,924	(7,220,924)	(7,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	11,000,000	3,935,250	7,064,750
車両運搬具	11,970,470	11,970,468	2
什器備品	2,479,784	2,323,538	156,246
ソフトウェア	858,942	730,278	128,664
合 計	26,309,196	18,959,534	7,349,662

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営費補助金	長岡市	0	57,467,960	57,467,960	0	—
派遣職員人件費補助金	長岡市	0	17,661,005	17,661,005	0	—
長岡まつりふれあい広場 事業補助金	長岡市	0	2,198,711	2,198,711	0	—
観光客受入れ関係 事業補助金	長岡市	7,987,687	0	766,763	7,220,924	指定正味財産
観光客受入れ関係 事業補助金	長岡市	0	2,980,358	2,980,358	0	—
「消費喚起・需要拡大 プロジェクト」応援事 業補助金	新潟県	0	609,466	609,466	0	—
「地域の魅力発信の強 化や周遊の促進に向け た研修事業」補助金	観光庁	0	200,000	200,000	0	—
合 計		7,987,687	81,117,500	81,884,263	7,220,924	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	766,763
合 計	766,763